

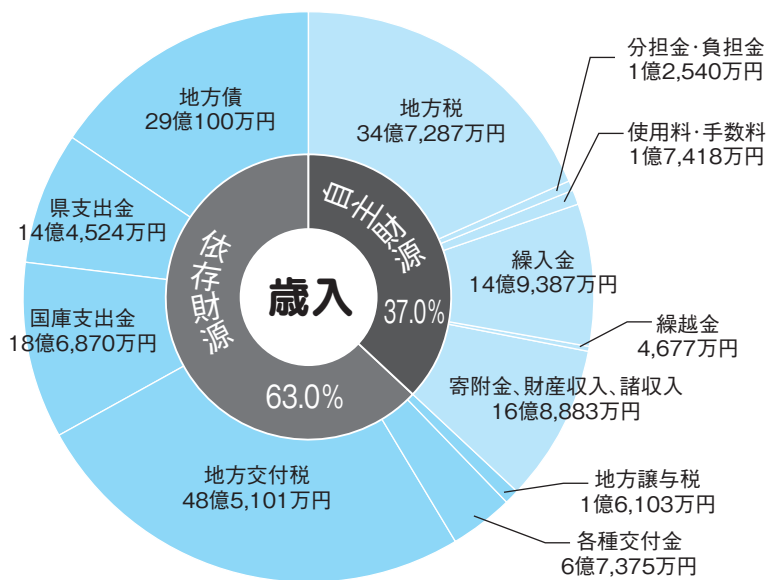
市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われているか、市の財政がどのような状況にあるのかをお知らせするため、財政事情を公表します。

◎問い合わせ 財政課 財政係 ☎37-0101

令和元年度 決算の状況

一般会計歳入：189億265万円

対前年度比：19億8,043万円増加



寄附金、国庫支出金の増加

前年度から増加した主な要因は、ふるさと納税指定寄附金の増加とそれに伴うふるさと寄附金基金繰入金の増加や、幼児教育・保育無償化に伴う国庫支出金や地方特例交付金の増加などがあげられます。

自主財源が37.0%に対して依存財源は63.0%であり、行政サービスの多くが依存財源で賄われている状況です。市の財政運営は国・県の動向により大きく左右され、さらに合併による財政優遇措置が令和2年度までで終了するため、厳しい財政状況になることが予想されます。

今後も自主財源の更なる確保と歳入に見合った歳出を基本とし、安定した財政運営に努めます。

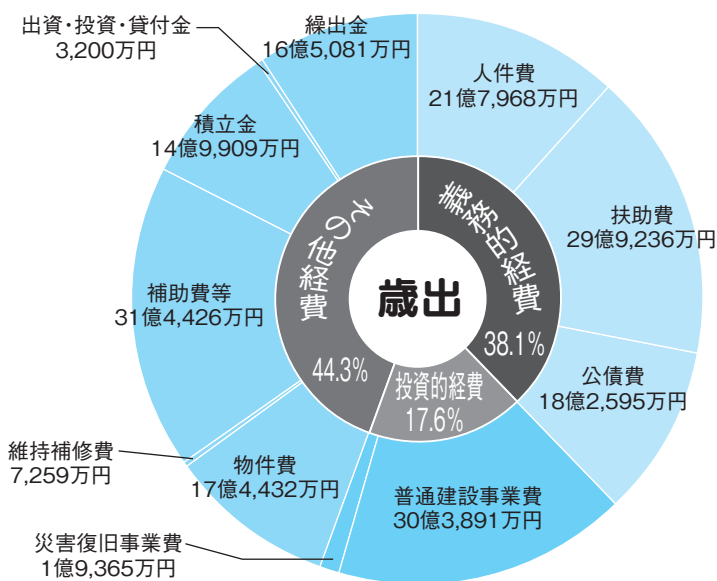
自主財源：市が自主的に調達できる収入

依存財源：国、県から交付される財源や地方債

繰入金	これまで積み立てた基金などから繰り入れる財源
地方交付税	すべての地方公共団体が、等しく行政サービスを提供できるよう国から交付されるもの
国庫・県支出金	特定の事業に対する国・県からの補助金など
地方債	財政上必要とする資金を外部から借入れるもの

一般会計歳出：183億7,362万円

対前年度比：14億9,817万円増加



ふるさと納税関係経費、一部事務組合負担金などの増加

前年度から増加した主な要因は、ふるさと納税指定寄附金の増加に伴う返礼品（補助費等）およびふるさと寄附金基金積立金の増加や、葬祭場建設に伴う神埼市・吉野ヶ里町葬祭組合負担金の増加、幼児教育・保育無償化等による扶助費の増加などがあげられます。

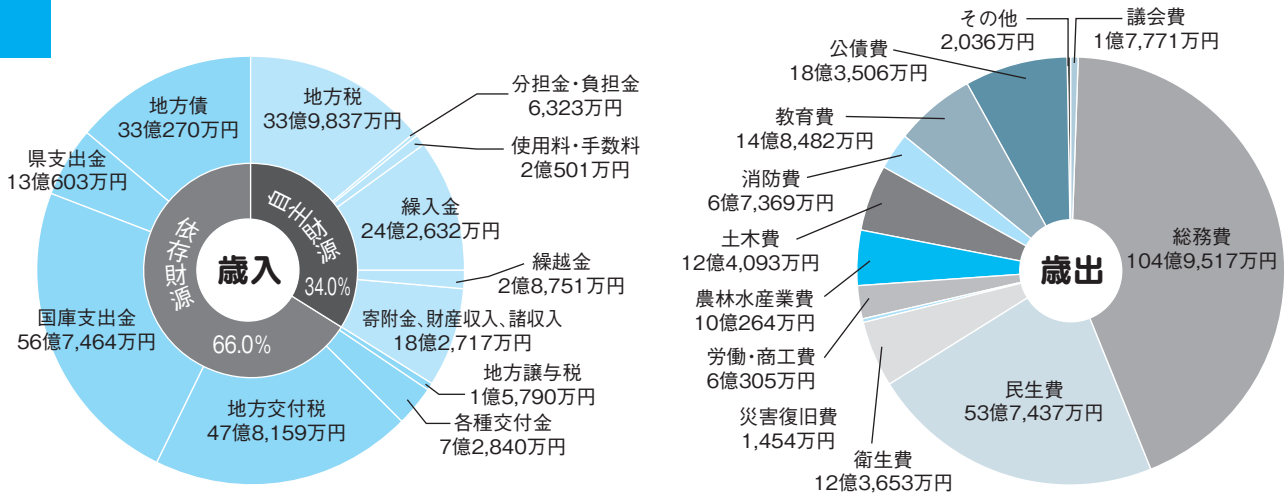
義務的経費：支出が義務づけられ毎年支出しなくてはならない経費

投資的経費：道路の整備、公共施設の建設や大規模改修など社会資本の整備にかかる経費

扶助費	社会保障制度の一環として生活困窮者や身体障がい者等の生活を保障するために支出される経費
普通建設事業費	道路、橋梁、学校など公共施設の建設・整備事業に要する経費
補助費等	市から他の地方公共団体等に行政上の目的で交付する経費

令和2年度 予算の状況 (8月定例議会後)

一般会計予算総額：241億5,887万円



一般会計の主な事業

【ハード事業】

- ・新庁舎建設事業 19億5,476万円
- ・脊振町複合施設建設事業 6億8,555万円
- ・千代田庁舎整備事業 3億7,062万円
- ・道路橋梁新設改良事業（国庫補助事業） 6,701万円

【ソフト事業】

- ・ふるさと納税推進事業 7億9,753万円
- ・私立・管外保育所等運営事業 7億7,141万円
- ・障害者自立支援給付事業 7億4,066万円

【新型コロナウイルス感染症対策関係事業】

- ・特別定額給付金事業 31億7,758万円
- ・子どもの学びの保障ICT環境整備事業 3億12万円
- ・神崎市活性化推進クーポン券支給事業 2億689万円
- ・神崎市事業者応援給付金事業 1億2,010万円
- ・子育て世帯への臨時特別給付金事業 4,727万円
- ・高収益作物次期作支援事業 1,180万円
- ・公共施設の感染防止対策事業 1,064万円
- ・神崎市雇用調整助成金申請手続支援事業 750万円

基金（貯金）の状況

(単位：千円)

区分	当初	補正	補正後
一般会計	5,669,810	279,316	5,949,126
特別会計	176,678	59,214	235,892
合計	5,846,488	338,530	6,185,018

市民一人あたりの基金残高・・・約20万円

地方債（借金）の状況

(単位：千円)

区分	当初	補正	補正後
一般会計	19,957,676	△ 6,300	19,951,376
特別会計	349,561	15,100	364,661
合計	20,307,237	8,800	20,316,037

市民一人あたりの地方債残高・・・約65万円

※地方債残高には、合併特例事業債や過疎対策事業債など地方交付税で後年度財源措置される分が約7割見込まれ、実質的な市の負担は約3割となります。今後も有効かつ効果的な地方債（市債）を活用した財政運営に努めます。

実質的には市民一人あたり
約16万円 ※

市長という役割を担えるご縁に感謝

先月号に続き、新庁舎にか
かる思いを書かせていただき
ます。

新庁舎は、地震や降雨、暴
風などに備えを強くした施設
であることは述べさせていた
だきました。また、県内自治

体で初導入の地中熱を利用し
た空調設備など環境にやさし
く、誇れる庁舎であることも
書かせていただきました。

9月22日、新庁舎落成式を
無事に終え、その後に内覧会
を行い、多くの方にご覧いた
だきました。その折、市民の

方々から「素晴らしいものが
出来たね」「私達の誇りだ」「立
派ねー」さらに「市長さん大
変だったでしょう」などのお
褒めや慰労の言葉をいただき

き、私は感激で、ただ「あり
がとつございます。皆さん方
のおかげです」と、述べる事
で一杯でした。いろいろな思
いが満ち潮のごとく込み上げ、笑
顔の内にも潤んだ眼の不思議な
表情をお見せしていたのではと
小恥ずかしく思っています。

建設を担当した庁舎整備課の
職員はもとより、全職員が心を
ひとつにして新庁舎の配置や使
い勝手の利便性を追求し、協議
に協議を重ねた結果としての成
果品が、神埼市の誇れる庁舎で
あります。

私自身、市長席に臨み、感無
量です。この席に私が腰を下ろ
せることに望外の喜びを感じま
す。これまで数多くの歴代首長
の中で、私がこの新庁舎建設に
関わらせていただいた巡り合わ
せ、「ご縁」を有り難く、ただ
感謝を覚えるところです。「あ
りがとつございます」

そこで、私の目標は華美な庁
舎を造るのではなく、できるだ
け、利便性に優れた新庁舎を建
設することでした。しかし、新
庁舎を建設することだけが目標
ではなく、庁舎は市政運営設備
の一つであります。心新たに
して、さらに市民の幸福を求めて
市政運営に取り組んでまいりま
す。皆さまには、市政への関心
を寄せていただくとともに、こ
れまで以上のご理解とご支援を
お願いします。

また、10月3日には、職員O
BOG 38人と現職67人が参加し
旧庁舎を懐かしむ記念撮影会を
行いました。その後、旧庁舎内
を見納めしてもらいました。が、
残された机やキャビネットなど
の備品に「もったいない」との
言葉をかけられ「そうですね」
と納得する一方で、時代の変化

に「仕方ないな」と思わざる
を得ず、IT化する事務機器
の進展に執務机も変わつてい
ることから新規の事務設備導
入となっております。

市長、副市長、部課長の執
務机、応接セットなど再利用
できるものは持ち込み、使用
しています。また、旧庁舎に
残った使用可能な備品は後日
地区等への譲渡を行う予定で
す。そのような意見が記憶に
とどまるものでした。

これからも、節約、倹約の
心をもつて財政運営に努めて
まいりますとともに、市民協
働の精神の下、神埼市がま
ます発展するように努めてま
いりますので、皆さんのご理
解とご支援、ご協力をお願い
します。

神埼市長 松本 茂幸

市長交際費の公表
(令和2年9月分)

項目	件数	支出額(円)
弔慰	2	19,500
御祝	4	12,000
激励	0	0
会費	0	0
見舞い	0	0
その他	0	0
計	6	31,500

夜の市長室

皆さまの声をお聞かせください！
11月は第1火曜日ではありません。

○今後の予定

とき	ところ
11月9日(月)	神埼市役所
12月1日(火)	千代田町保健センター

18:00～20:00 (1組30分程度)
当日は来庁順です。

◎問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088

10月の脊振支所開催分には、
5組6人が来庁されました。

※お住まいの地区に関係なくお
越しいただけます。

※荒天などの場合は、開催の有
無をお問い合わせください。